

ACROSS LETTER

www.across21c.co.jp

炎暑の夏号
Vol.38
July.2025

半端ない暑さが訪れ、今年の夏、皆さまと株式会社アクロスをつなぐ
コミュニケーション「ACROSS LETTER 第38号」をお届けします。
今号は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭の
省エネを推進するための補助金制度(の変更点)について
書かせていただきました。次号は秋号(10月)の予定です。

最近の大規模修繕工事事情

ここが変わった 住宅省エネ補助金概要

昨年にご案内させていただいたアルミサッシ・玄関扉等の改修に
関わる補助金制度の変更点についてお知らせさせていただきます。

補助金の変更ポイント(2024年→2025年)

住宅省エネ2024補助金概要

先進的窓リノベ2024事業 予算1350億円

窓改修工事 戸当り最大200万円まで補助
(熱貫流率2.3以下:Bグレード)補助対象
(アルミ樹脂複合窓が必須)

※全体予算2500億円(内リフォーム予算400億円)

子育てエコホーム支援事業 予算1350億円

※内内容は現時点の情報です。今後更新・変更の可能性があります。

窓改修工事(単独工事可)(アルミ窓も可)

戸当り最大20万円まで補助

※子育てグリーン住宅支援事業 予算2500億円

(d)開口部の断熱改修 (e)躯体の断熱改修
(f)エコ住宅設備の設置

Sタイプはd+e+fの全て実施(上限60万/戸)
Aタイプはd+e+fのいずれか2つ実施(上限40万/戸)

※窓改修工事(単独工事不可)
※玄関ドア改修工事(単独工事不可)
※全体予算2350億円(内リフォーム予算400億円)

住宅省エネ2025補助金概要

先進的窓リノベ2025事業 予算1350億円

窓改修工事 戸当り最大200万円まで補助
(熱貫流率1.9以下:Aグレード)補助対象
※Bグレードは補助対象外

(アルミ樹脂複合窓が必要)

※本内容は現時点の情報です。今後更新・変更の可能性があります。

あとがき

目的 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、
住宅の断熱性の向上に資する改修や高効率給湯器の導入などの
住宅の省エネ化への支援を強化する必要。

国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネリフォームを支援する補助
制度について、3省の連携により、各事業を組み合わせて利用すること(併用)や、
ワンストップでの申請を可能とする。



※本内容は現時点の情報です。今後更新・変更の可能性があります。

住宅省エネキャンペーンにおける3省連携(リフォーム)

目的 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、
住宅の省エネ化への支援を強化する必要。

参考ページ



国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネリフォームを支援する補助
制度について、3省の連携により、各事業を組み合わせて利用すること(併用)や、
ワンストップでの申請を可能とする。



対象

工事内容	補助対象	補助額
1)高断熱窓の設置	高性能の断熱窓 (熱貫流率(JWU値)1.9以下等、建物アップランナー制度による目標を超過するもの等、一定の基準を満たすもの)	★A リノベーション工事内容に応じて定める額 (a)10万円/台、(b)13万円/台、 (c)20万円/台)
2)高効率給湯器の設置	給湯省エネ2025事業	定額(下記は主な補助額) (a)10万円/台、(b)13万円/台、 (c)20万円/台)
3)開口部躯体等の省エネ改修工事	賃貸集合住宅におけるエコジョーズ等取替 賃貸集合住宅エネ改修2025事業	追加機能無し:5万円/台または10万円/台 ※セイフ工事内容によって補助額を決定
4)子育てグリーン住宅支援事業	住宅の子育て対応改修、空気清浄機能、 換気機能付きエアコン設置工事等	★B ・(d)(e)(f)のいずれか2つを実施 上限:60万円/戸 Aタイプ: ・(d)(e)(f)のいずれか2つを実施 上限:40万円/戸

★A 先進的窓リノベ2025事業の概要

(断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業)

参照ページ

